



平成23年 5月12日

各 位

大阪市西区江戸堀1丁目9番25号
ダイダン株式会社
代表取締役社長執行役員
植 林 信 一
(東証・大証第一部 コード番号1980)

(問合わせ先)
取締役専務執行役員業務本部長
河久保 弘 和
Tel (06) 6447-8000

「中期経営計画」の修正ならびに見直しに関するお知らせ

当社は、平成21年度から平成23年度までの3カ年を対象とする「中期経営計画」の最終年度の収益目標を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

また、事業環境の変化に適切に対応するため、「中期経営計画」の収益目標および戦略・施策を必要に応じて定期的に見直すことといたしました。これに伴い、新たに平成25年度までの収益目標を策定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の最終年度の収益目標の修正について

(1) 修正の理由

世界同時不況以降、経済政策に景気回復への道筋が明確に示されず不透明な状況が続いておりました。更に、3月11日に発生した東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故により、日本の産業構造に変化が生じることも予想される事態となっております。建設業界にとりまして、設備投資の大幅な回復は見込めず、厳しい事業環境が続くものと予想されます。

このような状況の下、当社といたしましては、最終年度の収益目標を修正することといたしました。

(2) 修正後の収益目標

本計画最終年度（平成23年度－第83期）の収益目標

	連 結	個 別
受注工事高	1, 240億円	1, 230億円
完成工事高	1, 190億円	1, 180億円
営 業 利 益	35億円	35億円

平成22年5月13日に公表いたしました修正後の収益目標から、受注工事高につきましては連結190億円、個別180億円、完成工事高につきましては連結

160億円、個別150億円下方修正しております。なお、営業利益につきましては、連結を1億円下方修正しておりますものの、個別は当初計画通りとしております。

2. 中期経営計画の見直しについて

(1) 見直しを行う理由ならびに見直し方法

経済環境が不透明さを増し、産業構造の変化も予想されるなか、従来の3年毎の収益目標および戦略・施策の設定では経営の弾力性を欠く懸念があります。

このため、当社では収益目標および戦略・施策の見直しを以下のとおり行うこととします。

①収益目標につきましては、今年度から先行き3カ年の状況を毎年見直したうえで洗い替えることといたします。

②戦略・施策につきましては、2年ごとに見直しを行うものといたします。

これは、背景となる世界および日本の経済見通しを収益目標および戦略・施策に適宜反映させることにより、中期経営計画をその時々の経済情勢から乖離しない内容に維持し、その目標の達成を目指すことで、会社の継続的な繁栄を確保することを目的とするものです。

なお、平成24年度（第84期）を初年度とする中期経営計画の戦略・施策は、現在中期経営計画策定委員会により、平成23年度内の作成を目処に検討を行っております。

(2) 平成25年度までの収益目標

平成25年度（第85期）までの3カ年の収益目標（連結）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
受注工事高	1,240億円	1,310億円	1,360億円
完成工事高	1,190億円	1,260億円	1,360億円
営業利益	35億円	42億円	50億円

平成25年度（第85期）までの3カ年の収益目標（個別）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
受注工事高	1,230億円	1,300億円	1,350億円
完成工事高	1,180億円	1,250億円	1,350億円
営業利益	35億円	42億円	50億円

以上